

H29年度 VPP事業 FAQ

No.	区分	質問	回答	区分
1	蓄電池登録	サイクル試験は自社試験だけでOKでしょうか。それとも第三者認証が必要でしょうか？	今年度のサイクル性能年数は、自社で実施した試験結果をSIIにご提出いただければ大丈夫です。第三者認証の必要はございません。試験方法の詳細はZEHの蓄電池登録要領をご参照ください。加速試験や劣化曲線を用いた評価も認められます。	-
2	蓄電池登録	蓄電池をファームアップした場合、JET系統連系認証は必要ないのでしょうか？	ファームアップ前に系統連系保護装置の認証の部分変更申請が必要です。詳細は一般財団法人 電気安全環境研究所にご確認ください。	-
3	蓄電池登録	蓄電池システムメーカーが蓄電池システムにおいて、ECHONET Lite通信機器と共にHEMSもシステム内に内蔵した場合、HEMS内蔵ECHONET Lite対応蓄電池として機器登録できるのでしょうか？また、内蔵型の場合、蓄電池補助金に加えてHEMS補助金の加算はされるのでしょうか？	パッケージ型番の範囲には計測・制御装置も含まれますので、HEMSを内蔵した場合は機器登録可能と考えております。ただし、HEMS分補助金の加算はされません。	-
4	蓄電池登録	補助金額計算根拠に用いる初期実効容量は「JEM規格で定義された」と記載されているが、第三者認証を求めないのでしょうか？	初期実効容量は、自己認証とします。実効容量はJEM規格に定義されている計算値と実測値の低い方の値を採用します。計測数やばらつき補正は定義しませんので、事業者の判断にお任せします。	-
5	蓄電池登録	蓄電池性能に最低限10年保証を求めているが、財産処分制限期限を4年とするのは何故でしょうか？これまでの電池補助事業に関するものは最低6年であったと思います。	4年はおくまで個人申請の場合のみです。個人は、固定資産台帳や減価償却の概念がないため、実証用機械の法定耐用年数である4年を定義としています。法人の処分制限期間は法人が使用する法定耐用年数となります。	-
6	蓄電池登録	サイクル試験は自社試験だけでOKでしょうか。それとも第三者認証が必要でしょうか？	ZEH事業に登録がある蓄電池の内、Release HとAIF認証を取得済みもしくは取得予定のものがVPP事業の補助対象となります。上記以外でVPPの補助対象基準を満たすものはVPP事業で個別に登録します。また、産業用蓄電池につきましては、機器登録はありません。	-
7	蓄電池登録	蓄電池を登録する際に、リソースアグリゲーターを複数指定することは可能でしょうか？	蓄電池登録時にリソースアグリゲーターの指定は不要です。	-
8	蓄電池登録	保証年数は有償・無償のどちらでしょうか？	家庭用蓄電池の最低保証年数10年は無償保証です。ただし、無償保証基準は免責条項も含めてメーカー独自の基準で構いません。	-
9	アグリゲーター登録	申請後または採択後に、指定するType II・IIIを増やすことはできるのでしょうか？	計画変更届け等での運用を考えております。リソースアグリゲーター採択後も追加可能です。	-
10	アグリゲーター登録	A事業で親アグリゲーターが不採択となった場合、親アグリゲーターを変更して、B事業に再申請をしますのでしょうか？その場合、Bアグリ再公募は行いますか？	予算の都合もありますので、現時点では未定です。	-
11	アグリゲーター登録	本書に記載された金額等数値が未達成の場合、何かペナルティはあるのでしょうか？	特にはありませんが、導入実績が0の場合は実証経費等が認められない場合があります。	-
12	アグリゲーター登録	申請予定補助金額はリソース導入促進事業（C事業）の予約的な意味合いはあるのでしょうか？	一定程度は各アグリゲーターへの予算枠を設定する予定です。（金額ではありません）	-
13	アグリゲーター登録	体制図はどこまで記載すればよろしいですか？	親アグリゲーターゲータがA事業へ提出する体制図と同じ体制図をSIIにご提出ください。	-
14	アグリゲーター登録	機器が登録されていない段階で、メーカー名、商品名を書いていいですか？	あくまで予定なので問題ありません。	-
15	アグリゲーター登録	電力小売事業者が電力取引を委託する協会社とリソースアグリゲーター申請する場合、申請者は電力小売事業者となりますか？	需要家とVPPサービス契約を直接契約する事業者が小売であれば小売がリソースアグリゲーターです。	-
16	アグリゲーター登録	「需要家に対してベースラインおよびインセンティブ計算方法を明示し」とあるが、上げDRについてはベースラインに関する議論もされておらず条件とするのは困難ではないでしょうか？	上げDRに関しては、需要家に対してのベースラインおよびインセンティブ計算方法の明示は、登録時の必須条件とはいたしません。今後の上げDRの検討が進む中で、ベースラインの設定方法が決定しましたら、それをご参照の上、需要家とご調整して下さい。	4/24 変更
17	アグリゲーター登録	Type IIIの申請はどのようにすればよいですか？	Type IIIアグリゲーターはIAE/SII双方に申請する必要があります。使う書式はSIIの書式をご使用ください。ただし指定様式1はSII専用となりますので、IAE提出分はIAEの様式1及び別紙1をご使用ください。	4/24 追加
18	アグリゲーター登録	Type IIIの実証経費はリソースアグリ分と親アグリ分を分けてIAEとSII双方に申請するのでしょうか？	いいえ、Type IIIの場合の実証経費はすべてIAEに申請してください。Type IIIがSIIに申請するのはリソースの導入見込のみです。	4/24 追加
19	アグリゲーター登録	Type IIIの場合、SIIへは業務計画書や実証経費、人件費等の明細にかかわる添付資料は提出不要でしょうか？	Type IIIの場合、実証経費等はSIIに申請しませんが該当する添付資料の提出は不要です。	4/24 追加
20	アグリゲーター登録	SIIのリソースアグリゲーターは「登録」となっておりますが、SIIに登録された時点で申請した実証経費は確定するのでしょうか？	SIIへの最初の申請はあくまで「登録申請」です。実証経費を申請する場合は、後日公開する「交付申請書」を提出いただく必要があります。登録後すぐにご提出ください。なお、実証経費申請が0円でもリソースアグリゲーターとして活動することはできます。	4/24 追加
21	VPPリソース申請	電気自動車の蓄電池を使用する場合放電できることが必須でしょうか？	V2Hなので放電できないと原則対象外と考えています。ただし、充電専用の充電器を遠隔制御する場合、IoT化機器については補助対象となります。	-
22	VPPリソース申請	V2Hを導入した場合、蓄電池（EV）の系統接続は連系認証が必須でしょうか？	JETの系統接続認証があれば良いですし、個別協議でも可能です。	-
23	VPPリソース申請	家庭用蓄電池システムはECHONET Lite Release Hを搭載し個人が購入するもの、それ以外で需要家属性が個人でないものは業務用との切り分けの理解でよいが、その他定格出力等の設備要件がありますか？	設置場所が家庭の場合、ECHONET Liteの取得は必須で家庭用蓄電池として判断されます。設置場所が家庭以外の場合でZEH事業に登録されていない蓄電池は、ECHONET Liteの有無に関係なく容量出力比で判断します。2.0以上のものはkWh蓄電池と判断し家庭用、2.0未満のものはkW蓄電池と判断して産業用と分類します。	-
24	VPPリソース申請	リソース導入（C事業）は東京電力、関西電力、九州電力エリアで電源I-bDRを行う必要がありますか？3エリア外での導入でも補助は出るのでしょうか？	親アグリゲーター全体として3エリアでI-b電源の実証を行うことが必須であり、紐づくリソースアグリゲーター全社が3エリアでI-b電源の実証を行う必要はありません。	4/24 追加
25	VPPリソース申請	VPPリソースの予算枠は各アグリゲーター3,000万円が上限なのでしょうか？	いいえ、3,000万円の上限はB事業のアグリゲーターへの補助（人件費・システム開発費・実証経費）だけです。C事業のリソースに各アグリゲーターの上限はありません。なお、アグリゲーターが自社にVPPリソースを導入する場合もC事業へ申請し、B事業の実証経費では申請しないでください。	4/24 追加